

兵庫大学学則

〔平成7年4月1日制定〕
兵大程第6号

第1章 総則

第1節 目的

(目的)

第1条 本学は、本学園創立の根本理念たる「睦」の精神を育む仏教主義に基づく大学として、教育基本法及び学校教育法に則り、専門の学芸を教授研究するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、併せて有為の人材を養成することを目的とする。

(自己点検・評価)

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、第1条の目的を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、公表する。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については別に定める。

第2節 組織

(学部)

第3条 本学に、次の学部を置く。

経済情報学部

健康科学部

生涯福祉学部

2 前項の学部置く学科及びその入学定員は、次のとおりとする。

学部	学科	コース	入学定員	編入学定員 (3年次)	収容定員
経済情報学部	経済情報学科	—	80人	2人	324人
健康科学部	栄養マネジメント学科	—	80	20	360
	健康システム学科	—	40	—	160
	看護学科	—	90	—	360
	計		210	20	880
生涯福祉学部	社会福祉学科	—	30	—	120
	こども福祉学科	幼児教育コース	30	5	130
		児童福祉コース	20	—	80
	計		80	5	330
合計			370	27	1,534

(大学院)

第3条の2 本学に、大学院を置く。

2 大学院の学則は別に定める。

(附置機関)

第4条 本学に、次の附置機関を置く。

(1)附属図書館

(2)附属総合科学研究所

(3)エクステンション・カレッジ

2 前項各号の附置機関に関し、必要な事項は別に定める。

(附属研究所)

第5条 (削除)

第2節の2 学部等の教育研究上の目的

(経済情報学部の教育研究上の目的)

第5条の2 経済情報学部は、ともに生きる調和のとれた世界の発展に貢献するため、豊かな教養と経済学への深い理解、情報の理論とその活用力とを備え、現代社会の諸問題を積極的に分析、解決する人材を養成する。

2 経済情報学科は、学部教育の目的にそってより進んだ専門性を修得するために、現代の経済や社会の抱える諸問題を経済、情報、地域のそれぞれの専門分野の視点から捉え、それらを現場の身近な問題関心として提起するとともに、各専門分野における適切な理論や分析枠組みを用いて解明し、具体的な解決策を提示する方法を学ぶ。

(健康科学部の教育研究上の目的)

第5条の3 健康科学部は、人間の健康と生活の質の向上に関わる諸問題を科学的に解明し、その成果を生涯健康の維持と増進に実践的に生かすことのできる人材を養成する。また、生命に対する畏敬の念と倫理観に基づいて人間理解を深め、健康で活力に満ちた地域社会の実現に貢献する資質を涵養する。

2 栄養マネジメント学科は、生命の基本である「食」を探究し、人々の健康の維持と増進および疾病予防と回復の指導ができる栄養専門家の養成をめざす。また、食物と栄養および食生活に関係する要因を科学的に追究する能力と総合的に栄養をマネジメントする能力を備え、社会に貢献できる人材を養成する。多様な実践活動の場において、知識と技術を修得し、課題解決能力を身につけ、豊かな人間性と感受性を育み、食と健康を通して生命を尊重する心を育てる。

3 健康システム学科は、心の健康、身体を健康を探究し、健康に関連する分野の知識を有機的、総合的に体系化した高度な専門知識と技能を修得することをめざす。さらに健康の分野の知識を生かしつつ、健康の維持と増進の方法および技能を修め、生活全般に生かす能力を涵養することにより、健康コーディネーターの養成をめざす。

4 看護学科は、お互いの人格を尊重し合い、感性が豊かで、いとおしむ心のある人間形成をめざすとともに、人間の「知」「情」「意」のバランスのとれた発達を支援し、地域社会のヘルスプロモーション実現に向けて、使命感をもって貢献できる看護実践能力と看護学専門性向上のために研鑽する基本能力を備えた人材を養成する。

(生涯福祉学部の教育研究上の目的)

第5条の4 生涯福祉学部は、基本的人権および社会正義の尊重を基礎とした社会福祉の理念と、ソーシャルワークの力量によって、人の生涯にわたる発達および自らによる能力開発を支援できるとともに、個人と環境の相互作用による地域福祉の実現に貢献する社会福祉専門職の人材を養成する。

2 社会福祉学科は、人間の福利を広く「人間一人ひとりの能力開発を支援すること」と捉え、国際的視野に立つとともに小都市および町村に焦点を当て、人々とその環境に働きかけることにより、家族や地域の福祉力を高めるソーシャルワーカーを養成する。社会福祉の価値について理解することを土台として、社会福祉の知識や技術を科学的方法論と職業的倫理観をもって実践に用いることのできる専門的能力を涵養する。

3 こども福祉学科は、現代の社会の要請に応え、未来の社会を築き上げていく力をこどもたちに培うことのできる、こどもの福祉を担う人材、「子どもの最善の利益」を原則とするこども観を持った人材を養成する。

第3節 職員組織

(職員組織)

第6条 本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員を置く。

2 職員組織に関する事項は、別に定める。

(学部長)

第6条の2 学部に、学部長を置く。

第4節 教授会

(教授会)

第7条 本学に、教授会を置く。

2 教授会は、専任の教授をもって組織する。

3 前項の規定にかかわらず、教授会の組織には、准教授、講師及び助教を加えることができる。

(審議事項)

第7条の2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業

(2) 学位の授与

(3) 教育課程の編成

(4) 教員の教育研究業績の審査

(5) 前4号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(その他)

第7条の3 本節に定めるもののほか、教授会に関し必要な事項は別に定める。

第5節 学年・学期及び休業日

(学年)

第8条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第9条 学年を次の2学期に分ける。

I期 4月1日から9月30日まで

II期 10月1日から翌年3月31日まで

2 必要がある場合は、学長は、I期の終了日及びII期の開始日を変更することができる。

(休業日)

第10条 休業日は、次の通りとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に定める日

(3) 学園創立記念日 6月10日

(4) 春季休業 3月20日から3月31日まで

(5) 夏季休業 8月1日から9月25日まで

(6) 冬季休業 12月25日から1月7日まで

2 必要がある場合は、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 本条第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第2章 学部通則

第1節 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第11条 学部の修業年限は、4年とする。

(在学年限)

第12条 学生は8年を超えて在学することができない。ただし、第18条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

2 前項の規定にかかわらず、編入学者に関する在学年限については、別に定める。

第2節 入学

(入学の時期)

第13条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学及び転入学については、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第14条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の課程を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（高等学校卒業程度認定試験規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定試験に合格した者を含む）
- (8) その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達した者

(入学の出願)

第15条 本学への入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて学長に願い出なければならない。

(入学者の選考)

第16条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第17条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、個人調書その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学金を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続完了した者に入学を許可する。

(編入・転学・再入学)

第18条 次の各号の一に該当する者で、本学への入学を志願するものがあるときは、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）附則第7条に定める従前の規定

による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者

(4) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 186 条に定める専修学校の専門課程を修了した者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い、並びに在学すべき年数については教授会の議を経て、学長が決定する

3 編入学、転入学、再入学に関する必要な事項は別に定める。

(転学部・転学科)

第 18 条の 2 本学の学生で、他の学部又は学科に転学部又は転学科を志願する者があるときは、その学部又は学科の当該年次に欠員がある場合に限り、選考の上、これを許可することがある。

2 前項に定めるもののほか、転学部、転学科に関する必要な事項は、別に定める。

第 3 節 教育課程及び履修方法等

(授業科目)

第 19 条 本学の各学部で開設する授業科目は、次のとおりとする。

経済情報学部 基礎・教養科目及び専門教育科目

健康科学部 基礎・教養科目及び専門教育科目

生涯福祉学部 基礎・教養科目及び専門教育科目

2 各学部の授業科目及び単位数は、別表第 1、別表第 2、別表第 3、別表第 4、別表第 5、別表第 6-1、6-2 及び 6-3 のとおりとする。

第 20 条 前条に定めるもののほか、教職に関する科目を置く。

2 授業科目及び単位数は、別表第 7 のとおりとする。

(単位計算方法)

第 21 条 授業の単位計算方法は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容を持って構成することとし、授業の方法に応じ次の基準によるものとする。

(1) 講義・演習については、15 時間の講義・演習をもって 1 単位とする。ただし、別に定める授業科目については、30 時間の講義・演習をもって 1 単位とする。

(2) 実験・実習及び実技については、30 時間の実験・実習又は実技をもって 1 単位とする。ただし、別に定める授業科目については、40 時間又は 45 時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価し単位を授与することが適切と認められる場合は、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(単位の授与)

第 22 条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第 23 条 教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が外国の大学等に留学する場合、外国の大学等が行う通信教育による授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第 23 条の 2 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみ

なし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第24条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学及び再入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第23条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 4 入学前の既修得単位の認定に関し、必要なことは別に定める。

(成績評価)

第25条 各学部における成績評価方法は、次のとおりとする。

学 部 名	試験における成績評語の種類	合格とする評語
経済情報学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可
健康科学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可
生涯福祉学部	秀・優・良・可・不可	秀・優・良・可

(その他)

第25条の2 その他履修方法等に関して、必要な事項は別に定める。

第4節 休学・復学・転学・留学及び退学

(休学)

第26条 疾病その他理由により2ヶ月以上修学することができない者は、休学願いを提出し、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 疾病のため修学することが適当でない認められるものについては、学長は休学を命ずることができる。
- 3 その他休学に関し必要な事項は別に定める。

(休学期間)

第27条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

- 2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 3 休学期間は、第12条の在学期間に算入しない。

(復学)

第27条の2 休学者が復学しようとするときは、復学願を提出し、学長の許可を得なければならない。

- 2 その他復学に関し必要な事項は別に定める。

(転学)

第28条 他の大学への入学又は転入学を志願しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(留学)

第 29 条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第 32 条に定める在学期間に含まれることができる。

3 第 22 条の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

第 30 条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第 31 条 次の各号のいずれかに該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

(1) 授業料等の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(2) 第 12 条に定める在学年限を超えた者

(3) 第 27 条に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(4) 休学期間が満了しても復学の願い出をしない者

(5) 長期間にわたり行方不明の者

第 5 節 卒業及び学位

(卒業及び学位)

第 32 条 本学に 4 年以上在学し学部規則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、卒業証書を授与し、本学学位規定に定める学士の学位を授与する。

(資格等の取得)

第 32 条の 2 本学において取得することができる資格及び免許状の種類は次のとおりとする。

学 部	学 科	資格及び免許状の種類
経済情報学部	経済情報学科	高等学校教諭一種免許状 (情報) 高等学校教諭一種免許状 (公民) 高等学校教諭一種免許状 (商業)
健康科学部	健康システム学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 (保健体育) 高等学校教諭一種免許状 (保健体育) 中学校教諭一種免許状 (保健) 高等学校教諭一種免許状 (保健)
	栄養マネジメント学科	栄養教諭一種免許状
	看護学科	養護教諭一種免許状
生涯福祉学部	社会福祉学科	高等学校教諭一種免許状 (福祉)
	こども福祉学科 幼児教育コース	幼稚園教諭一種免許状 保育士資格
	こども福祉学科 児童福祉コース	保育士資格

2 本学において教育職員免許状を得ようとする者は、前条に規定する卒業要件を充足し、かつ教育職員免許法及び同施行規則に定める授業科目及び単位数を修得しなければならない。

3 本学の栄養マネジメント学科において、栄養士免許及び管理栄養士国家試験受験資格を得ようとする者は、学則に規定する卒業の要件を充足し、かつ栄養士法及び同法施行

規則に定める科目及び単位並びに本学において定める科目及び単位を修得しなければならない。

- 4 本学の看護学科において、保健師国家試験受験資格及び看護師国家試験受験資格を得ようとする者は、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の規定に基づき、本学において定める授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 5 本学の社会福祉学科において、社会福祉士国家試験受験資格及び精神保健福祉士国家試験受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法の規定並びに精神保健福祉士法の規定に基づき、本学において定める授業科目及び単位を修得しなければならない。
- 6 本学のこども福祉学科において、保育士資格を得ようとする者は、学則に規定する卒業の要件を充足し、かつ児童福祉法施行規則第6条の2第3項の規定により厚生労働大臣の定める授業科目及び単位（平成22年7月13日厚生労働省告示第278号）を修得しなければならない。
- 7 第1項に定めるもの以外の資格等の取得については、別に定める。

第6節 賞罰

(表彰)

第33条 学生として表彰に値する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第34条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当するものに対して行う。
 - (1) 品行が不良で改善の見込みがないと認められた者
 - (2) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められた者
 - (3) 正当の理由がなくして出席常でない者
 - (4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第7節 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生

(研究生)

第35条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することができる。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

(科目等履修生)

第36条 本学の学生以外の者で、学部開設される一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない場合に限り選考の上、科目等履修生として入学を許可することができる。

- 2 科目等履修生を志願することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - (1) 大学入学資格のある者又はこれと同等以上の学力があると認められた者
 - (2) 本学と高大連携に関する覚書等を締結している高等学校の生徒のうち、当該高等学校長の許可を受けた者

- 3 科目等履修生の履修の期間は1年又は1学期（Ⅰ期又はⅡ期）とする。
4 科目等履修生が授業科目を履修し、その試験に合格した場合は単位を与える。
（特別聴講学生）

第37条 他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。
（外国人留学生）

第38条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 前項の外国人留学生に対しては、第19条に掲げるもののほか、日本語科目及び日本事情に関する科目を置くことができる。

第39条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第8節 検定料、入学金及び授業料等

（検定料、入学金、授業料等）

第40条 検定料、入学金、授業料、実験実習費及び施設費の額は、別表第8のとおりとする。
（授業料等の納付）

第41条 授業料は、年額の二分の一ずつを次の2期に分けて納付しなければならない。

区分	納期
Ⅰ期（4月から9月まで）	4月中
Ⅱ期（10月から翌年3月まで）	10月中

（復学等の場合の授業料等）

第42条 Ⅰ期又はⅡ期の中途において、復学又は入学した者は、復学又は入学した月から当該期末までの授業料等を復学又は入学した月に納付しなければならない。

（学年の途中で卒業する場合の授業料等）

第43条 学年の途中で卒業する見込みの者は卒業する見込みの月までの授業料等を納付するものとする。

（退学及び停学の場合の授業料等）

第44条 Ⅰ期又はⅡ期の中途で退学し又は除籍された者の該当期分の授業料等は徴収する。
2 停学期間中の授業料等は徴収する。

（休学の場合の授業料等）

第45条 休学を許可され又命ぜられた者の休学期間の授業料等については、免除する。
ただし、在籍料を納付しなければならない。

2 前項に規定する在籍料の額は、別表第9のとおりとする。

（授業料等免除および徴収の猶予）

第46条 経済的理由によって納付が困難であり、かつ、学業優秀と認める場合又はその他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料の全部もしくは一部を免除し、又は徴収を猶予することがある。

2 授業料等の免除及び徴収の猶予に関し必要な事項は別に定める。

（研究生及び科目等履修生の授業料等）

第47条 研究生、科目等履修生及び特別聴講学生の検定料及び授業料等の額は、別表第10のとおりとする。

（納付した授業料等）

第48条 納付した検定料、入学金、授業料、実験実習費及び施設費は返付しない。

第9節 公開講座

(公開講座)

第49条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

2 公開講座に関して、必要な事項は、別に定める。

第10節 厚生施設

(学生寮)

第50条 本学に寄宿施設として学生寮を置く

2 学生寮に関して、必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。

2 第3条に規定する収容定員は、平成9年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成7年度		平成8年度			平成9年度		
	入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
経済情報学部	人	人	人	人	人	人	人	人
経済情報学科	150	150	150	20	320	150	40	510

附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

2 第3条に規定する収容定員は、平成12年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成10年度			平成11年度			平成12年度		
	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
経済情報学部	人	人	人	人	人	人	人	人	人
経済情報学科	150	40	700	150	80	740	150	80	780

附 則

1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

2 第3条に規定する収容定員は、平成14年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成12年度			平成13年度			平成14年度		
	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
経済情報学部	人	人	人	人	人	人	人	人	人
経済情報学科	200	80	830	200	80	900	200	80	950

附 則

1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、第32条の2については、平成12年度以前の入学者から適用する。

2 第3条に規定する健康科学部栄養マネジメント学科の収容定員は、平成15年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 13 年度		平成 14 年度		平成 15 年度		
	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
健康科学部 栄養マネジメント学科	人 100	人 100	人 100	人 200	人 100	人 20	人 320

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 32 条の 2 に規定する健康科学部健康システム学科の資格等の取得については、平成 14 年度以前の入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 3 条に規定する経済情報学部経済情報学科の収容定員は、平成 21 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 19 年度			平成 20 年度			平成 21 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
経済情報学部 経済情報学科	人 140	人 10	人 870	人 140	人 10	人 740	人 140	人 10	人 640

附 則

- この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 3 条に規定する健康科学部栄養マネジメント学科の収容定員は、平成 22 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 20 年度			平成 21 年度			平成 22 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
健康科学部 栄養マネジメント学科	人 80	人 20	人 420	人 80	人 20	人 400	人 80	人 20	人 380

附 則

- この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 3 条に規定する経済情報学部経済情報学科の収容定員は、平成 23 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 21 年度			平成 22 年度			平成 23 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
経済情報学部 経済情報学科	人 80	人 2	人 572	人 80	人 2	人 444	人 80	人 2	人 384

附 則

- 1 この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 45 条に規定する休学期間中の者の在籍料は、平成 21 年度以前に入学した在学者にも適用する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第 3 条に規定する健康科学部看護学科及び生涯福祉学部社会福祉学科の収容定員は、平成 26 年度までの間は次のとおりとする。

年度 学科	平成 24 年度			平成 25 年度			平成 26 年度		
	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員
健康科学部 看護学科	人 90	人 —	人 270	人 90	人 —	人 300	人 90	人 —	人 330
生涯福祉学部 社会福祉学科	人 30	人 —	人 210	人 30	人 —	人 180	人 30	人 —	人 150

- 3 第 26 条及び第 27 条並びに第 27 条の 2 及び第 31 条の規定については、平成 23 年度以前に入学した在学者にも適用する。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1 経済情報学部 経済情報学科の授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
基礎 科目	日本語（読解と表現）	2			必修 4科目 8単位を 含む 24単位 以上
	英語	2			
	コンピュータ演習	2			
教 養 科 目	宗教と人生	2			
	生命倫理学		2		
	哲学		2		
	文学		2		
	芸術		2		
	心理学		2		
	仏教と現代社会		2		
	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		
	国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		
	色彩とデザイン		2		
	法と社会		2		
	日本国憲法		2		
	人権の歴史		2		
	政治学		2		
	社会学		2		
	経済学		2		
	化学		2		
	生物学		2		
	食と健康		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
教 養 科 目	実用英語（初級）		2		
	実用英語（中級）		2		
	中国語（初級）		2		
	中国語（中級）		2		
	韓国語（初級）		2		
	韓国語（中級）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）		2		
	私のためのキャリア設計		2		

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	演習科目	基礎演習 A	2		必修 8科目 16単位 を含む 16単位 以上
		基礎演習 B	2		
		発展演習 I	2		
		発展演習 II	2		
		専門演習 I	2		
		専門演習 II	2		
		卒業演習 I	2		
		卒業演習 II	2		
		卒業研究		4	
	コース 共通科目	経済ビジネス入門	2		必修 6科目 14単位 を含む 24単位 以上
		情報科学入門	2		
		基礎数学 A	2		
		アプリケーションソフト	4		
		プレゼンテーション A	2		
		プレゼンテーション B	2		
		日本社会論		2	
		現代経済社会論 A		2	
		現代経済社会論 B		2	
		簿記演習 I		2	
		経済学入門		2	
		経営学入門		2	
		民法		2	
		グラフィックス		2	
		ウェブデザイン		2	
		基礎数学 B		2	
		経済数学 A		2	
		経済数学 B		2	
		統計学		2	
社会経済史		2			
現代思想論		2			
現代社会文化論		2			

授業科目の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	コース 共通科目	国際政治学		2	
		国際社会論		2	
		行政学 I		2	
		行政学 II		2	
		マスメディア論		2	
		比較文化論		2	
		情報社会論		2	
		いなみ野ため池学		2	
		いなみ野まちおこし学		2	
		メディアと政治		2	
		インターンシップ		2	
		フィールドワーク		2	
		経済情報特論 A		2	
		経済情報特論 B		2	
		経済情報特論 C		2	
		経済情報特論 D		2	
		経済情報特論 E		2	
		経済情報特論 F		2	
		経済情報特論 G		2	
	経済情報特論 H		2		
	経済 コース 専修科目	ミクロ経済学		4	選択したコース 専修科目から 必修 3科目 (ミ 経済 学、マ 経済 学、経 営学総 論) 10単位 を含む 40単位 以上
		マクロ経済学		4	
		経営学総論		2	
		簿記演習 II		2	
		工業簿記		2	
		簿記論		4	
		会計学入門		2	
		会計学		2	
会社法			2		
金融論		2			
財政学 I		2			

授業科目の 区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	経 済 コ ー ス 専 修 科 目	財政学Ⅱ	2		
		産業組織論Ⅰ	2		
		産業組織論Ⅱ	2		
		国際経済事情	2		
		環境経済論A	2		
		環境経済論B	2		
		地域経済論Ⅰ	2		
		地域経済論Ⅱ	2		
		社会政策Ⅰ	2		
		社会政策Ⅱ	2		
		証券市場論	2		
		経営戦略論Ⅰ	2		
		経営戦略論Ⅱ	2		
		財務諸表論Ⅰ	2		
		財務諸表論Ⅱ	2		
		情報会計論Ⅰ	2		
		情報会計論Ⅱ	2		
		労働経済論	2		
		経済政策	2		
		職業指導	2		
経済ビジネス特論A	2				
経済ビジネス特論B	2				
情 報 コ ー ス 専 修 科 目	情報数理 プログラミングⅠ プログラミングⅡ 情報システム学 組合せ理論 コンピュータ基礎論 プログラミング入門 オペレーティングシステム	情報数理	2		選択したコース 専修科目から 必修3科目 (情報数理、 プログラミングⅠ、 情報システム学)
		プログラミングⅠ	4		10単位を含む 40単位以上
		プログラミングⅡ	4		
		情報システム学	4		
		組合せ理論	2		
		コンピュータ基礎論	2		
		プログラミング入門	2		
		オペレーティングシステム	2		

授業科目の 区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	情 報 コ ー ス 専 修 科 目	情報ネットワーク	2		
		アルゴリズム	2		
		情報デザイン	2		
		オートマトン	2		
		情報セキュリティ	2		
		データベースⅠ	2		
		データベースⅡ	2		
		オペレーションズ・リサーチ	2		
		情報数学A	2		
		情報数学B	2		
		応用プログラミングA	2		
		応用プログラミングB	2		
		ソフトウェア設計論	2		
		情報検索論	2		
		情報倫理	2		
		情報管理論	2		
		情報システム特論A	2		
		情報システム特論B	2		

卒業要件
124
単位以上

別表第2 健康科学部 栄養マネジメント学科の授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
基礎 科目	日本語（読解と表現）	2			26単位 以上
	英語	2			
	コンピュータ演習	2			
	化学基礎	2			
	生物基礎	2			
教 養 科 目	宗教と人生	2			
	生命倫理学		2		
	哲学		2		
	文学		2		
	芸術		2		
	心理学		2		
	仏教と現代社会		2		
	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		
	国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		
	色彩とデザイン		2		
	法と社会		2		
	日本国憲法		2		
	人権の歴史		2		
	政治学		2		
	社会学		2		
	経済学		2		
	化学		2		
	生物学		2		
	食と健康		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
教 養 科 目	実用英語（初級）		2		
	実用英語（中級）		2		
	中国語（初級）		2		
	中国語（中級）		2		
	韓国語（初級）		2		
	韓国語（中級）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅰ□講義		2		
	健康・スポーツ科学Ⅱ□演習		2		
	健康・スポーツ科学Ⅲ□演習		2		
	私のためのキャリア設計		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	I 群 (領 域 に 関 す る 科 目)	基礎ゼミ I	2		9単位 以上
		基礎ゼミ II	2		
		基礎生化学	2		
		調理基礎実習	1		
		コミュニケーション論		2	
		食料経済		2	
		健康科学		2	
		健康情報処理演習	2		
		フードスペシャリスト論		2	
	フードコーディネート論		2		
	II 群 (専 門 基 礎 に 関 す る 科 目)	管理栄養士概論	2		28単位 以上
		公衆衛生学 I	2		
		公衆衛生学 II		2	
		社会保障制度論	2		
		保健統計学実習		1	
		生化学 I	2		
		生化学 II		2	
		生化学実験 I	1		
		生化学実験 II		1	
解剖生理学 I		2			
解剖生理学 II	2				
解剖生理学実験 I	1				
解剖生理学実験 II		1			
臨床病態学 I	2				
臨床病態学 II		2			
生体防御論		2			
食品学 I	2				
食品学 II	2				
食品学実験 I	1				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	II 群 (専 門 基 礎 に 関 す る 科 目)	食品学実験 II	1		
		食品衛生学	2		
		食品衛生学実験		1	
		調理学	2		
		調理学実習 I	1		
		調理学実習 II	1		
	III 群 (専 門 に 関 す る 科 目)	基礎栄養学 I	2		24単位 以上
		基礎栄養学 II	2		
		基礎栄養学実験	1		
		応用栄養学 I	2		
		応用栄養学 II		2	
		応用栄養学 III		2	
		応用栄養学実習		1	
		栄養教育論 I	2		
		栄養教育論 II	2		
		栄養教育論演習		2	
		栄養教育論実習 I	1		
		栄養教育論実習 II	1		
		臨床栄養学 I	2		
		臨床栄養学 II		2	
		臨床栄養学 III		2	
		臨床栄養学実習	1		
		臨床栄養学演習		2	
		公衆栄養学 I	2		
公衆栄養学 II		2			
公衆栄養学実習	1				
給食経営管理論	2				
給食管理実習 I	1				
給食管理実習 II	1				

授業科目 の区分		授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
			必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	Ⅲ 群 (専門に関する科目)	フードサービスマネジメント演習		2		卒業 要件 124 単位 以上
		総合演習Ⅰ		1		
		総合演習Ⅱ		1		
		総合演習Ⅲ		1		
		総合演習Ⅳ		1		
		給食管理臨地実習	1			
		臨床栄養臨地実習		2		
		公衆栄養臨地実習		1		
	卒業研究	卒業研究Ⅰ		3		
		卒業研究Ⅱ		3		

別表第3 健康科学部 健康システム学科の授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
基礎 科目	日本語（読解と表現）	2			26単位 以上 1科目 2単位 以上
	英語	2			
	コンピュータ演習	2			
	化学基礎		2		
	生物基礎		2		
教 養 科 目	宗教と人生	2			
	生命倫理学		2		
	哲学		2		
	文学		2		
	芸術		2		
	心理学		2		
	仏教と現代社会		2		
	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		
	国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		
	色彩とデザイン		2		
	法と社会		2		
	日本国憲法		2		
	人権の歴史		2		
	政治学		2		
	社会学		2		
	経済学		2		
	化学		2		
	生物学		2		
	食と健康		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
教 養 科 目	実用英語（初級）		2		
	実用英語（中級）		2		
	中国語（初級）		2		
	中国語（中級）		2		
	韓国語（初級）		2		
	韓国語（中級）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）		2		
	私のためのキャリア設計		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考		
		必修	選択	自由			
専 門 教 育 科 目	基礎ゼミⅠ	2			20単位 以上		
	基礎ゼミⅡ	2					
	健康科学序論	2					
	健康科学	2					
	健康統計の基礎	2					
	解剖学		2				
	生理学		2				
	微生物学		2				
	生化学		2				
	栄養学		2				
	食品学		2				
	栄養指導論		2				
	衛生学		2				
	公衆衛生学		2				
	医学概論		2				
	生活習慣病（成人病）		2				
	健康心理学		2				
	臨床心理学		2				
	教育特論Ⅰ	2					
	教育特論Ⅱ		2				
	教育特論Ⅲ		2				
	地域活動演習Ⅰ		2				
	地域活動演習Ⅱ		2				
	I群 （運動・ 体育に 関連す る科目）	体育原理		2			6単位 以上
		運動の基礎	2				
		運動生理学		2			
	運動生理学演習		2				
	運動栄養学		2				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	幼児運動実践演習	2			
	ジュニアスポーツⅠ		2		
	ジュニアスポーツⅡ		2		
	スポーツ指導法		2		
	スポーツ医学概論		2		
	スポーツ心理学		2		
	障害者スポーツ論		2		
	スポーツ史 （体育史を含む）		2		
	スポーツ科学Ⅰ		2		
	スポーツ科学Ⅱ		2		
	トレーニング科学Ⅰ		2		
	トレーニング科学Ⅱ		2		
	体力測定と評価	2			
	スポーツ実践演習Ⅰ		2		
	スポーツ実践演習Ⅱ		2		
	健康・体力づくり実践演習Ⅰ		2		
	健康・体力づくり実践演習Ⅱ		2		
	陸上競技Ⅰ		1		
	球技Ⅰ		1		
	陸上競技Ⅱ		1		
	球技Ⅱ		1		
	武道Ⅰ		1		
	器械運動Ⅰ		1		
	武道Ⅱ		1		
	ダンス／水泳Ⅰ		1		
	器械運動Ⅱ		1		
ダンス／水泳Ⅱ		1			
体育実技指導法Ⅰ		2			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	I 群 (運動・ 体育に 関連す る科目)	体育実技指導法Ⅱ		2		
	健康・体力づくり指導法Ⅰ		2			
	健康・体力づくり指導法Ⅱ		2			
	運動処方論		2			
	運動処方演習		2			
	運動負荷試験実習		1			
	レクリエーション (野外活動を含む)		2			
	II 群 (養護・ 保健に 関連す る科目)	病理学概論		2		6単位 以上
	薬理学		2			
	養護概説Ⅰ		2			
	養護概説Ⅱ		2			
	発育発達概論	2				
	養護活動演習		2			
	養護活動実習		2			
	学校保健Ⅰ (小児保健・学校安全を含む)		2			
	学校保健Ⅱ		2			
	学校保健Ⅲ		2			
	精神保健		2			
	健康行動論		2			
	健康統計学		2			
	健康相談活動の理論と実践		2			
	基礎看護学		2			
	看護学Ⅰ		3			
	看護学Ⅱ		3			
	臨床看護実習		2			
	救急看護 (救急処置を含む)	2				
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3			
	卒業研究Ⅱ	3				

別表第4 健康科学部 看護学科の授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
基礎 科目	日本語（読解と表現）	2			必修 10単位
	英語	2			
	コンピュータ演習	2			
	化学基礎	2			
	生物基礎	2			
教 養 科 目	宗教と人生	2			必修 2単位 選択 14単位 以上
	生命倫理学		2		
	哲学		2		
	文学		2		
	芸術		2		
	心理学		2		
	仏教と現代社会		2		
	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		
	国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		
	色彩とデザイン		2		
	法と社会		2		
	日本国憲法		2		
	人権の歴史		2		
	政治学		2		
	社会学		2		
	経済学		2		
	化学		2		
	生物学		2		
	食と健康		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
教 養 科 目	実用英語（初級）		2		
	実用英語（中級）		2		
	中国語（初級）		2		
	中国語（中級）		2		
	韓国語（初級）		2		
	韓国語（中級）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）		2		
	私のためのキャリア設計		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 基 礎 科 目 教 育 科 目 専 門 実 践 科 目	I 群 (健康支援と社会 保障制度)	社会福祉論		2	必修 6単位
		人間関係論 (カウンセリング含む)		2	
		家族関係論		2	
		精神保健		2	
		環境保健学		1	
		保健医療福祉行政論	2		
		公衆衛生学 (疫学含)	2		
		保健統計学	2		
	II 群 (人体の構造と機能)	基礎生物学		2	必修 10単位
		形態機能論 I	2		
		形態機能論 II	2		
		生化学		2	
		栄養学 (食品学を含む)	2		
		薬理学	2		
		免疫・微生物学	2		
	III 群 (及び疾病の 回復の促進)	臨床病理病態学 I (内科系)	2		必修 8単位
		臨床病理病態学 II (内科系)	2		
		臨床病理病態学 III (外科系)	2		
		臨床病理病態学 IV (周産期・小児科系)	2		
	IV 群 (基礎看護学)	看護学概論	2		必修 15単位
		看護理論	1		
		ヘルスアセスメント	1		
		看護技術論 I (生活技術援助)	2		
		看護技術論 II (診療技術援助)	2		
		看護技術論 III (看護過程)	1		
		基礎看護学実習 I	1		
		基礎看護学実習 II	2		
		看護教育学	1		
看護倫理		1			
看護管理学		1			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目 専 門 実 践 科 目	V 群 (成人・老年看護学)	成人看護学概論	2		必修 20単位
		成人看護援助論 I (生命危機状態にある人)	2		
		成人看護援助論 II (常態の維持・増進が困難な人)	2		
		成人看護学実習 I	3		
		成人看護学実習 II	3		
		老年看護学概論	2		
		老年看護援助論	2		
		老年看護学実習 I	2		
		老年看護学実習 II	2		
		VI 群 (母性・小児看護学)	母性看護学概論	2	
	母性看護援助論		2		
	母性看護学実習		2		
	小児看護学概論		2		
	小児看護援助論		2		
	小児看護学実習		2		
	VII 群 (精神・在宅・公衆衛生看護学)		精神看護学概論	2	
		精神看護援助論	2		
		精神看護学実習	2		
		在宅看護概論	2		
		在宅看護援助論	2		
		在宅看護実習	2		
		公衆衛生看護学概論	2		
		健康教育論	1		
		学校保健概論	1		
		国際看護学	1		
		災害看護学 (災害保健を含む)	1		

授業科目 の区分		授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
			必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	統 合 科 目	VIII群 (看護の統合と実践)	基礎ゼミ	2		必修 9単位	
		看護研究Ⅰ(基礎編)	2				
		看護研究Ⅱ(応用編)	2				
		リスクマネジメント論	1				
		看護の統合と実践実習	2				
	専 門 教 育 科 目	IX群 (保健師関連)	疫学		2		
			公衆衛生看護学活動展開論		2		
			健康相談活動の理論と実践		2		
			産業保健論		1		
			公衆衛生看護学実習Ⅰ		1		
			公衆衛生看護学実習Ⅱ		4		
			公衆衛生看護学特論		1		
		(養護教諭X群 論関連)	学校保健活動論		2		
			学校保健演習		2		
			養護概説		2		

別表第5 生涯福祉学部 社会福祉学科の授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
基礎 科目	日本語（読解と表現）	2			22単位 以上
	英語	2			
	コンピュータ演習	2			
	生物基礎		2		
教 養 科 目	宗教と人生	2			
	生命倫理学		2		
	哲学		2		
	文学		2		
	芸術		2		
	心理学		2		
	仏教と現代社会		2		
	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		
	国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		
	色彩とデザイン		2		
	法と社会		2		
	日本国憲法		2		
	人権の歴史		2		
	政治学		2		
	社会学		2		
	経済学		2		
	化学		2		
	生物学		2		
	食と健康		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
教 養 科 目	実用英語（初級）		2		
	実用英語（中級）		2		
	中国語（初級）		2		
	中国語（中級）		2		
	韓国語（初級）		2		
	韓国語（中級）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅱ（演習）		2		
	健康・スポーツ科学Ⅲ（演習）		2		
	私のためのキャリア設計		2		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 基 礎 科 目 教 育 科 目	人体の構造と機能及び疾病	2			22単位 以上
	心理学理論と心理的支援	2			
	社会理論と社会システム	2			
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	2			
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	2			
	介護概論		2		
	法学		2		
	行政法		2		
	生涯発達心理学		2		
	こころの基盤の理解		2		
	コミュニケーション論		2		
	社会心理学		2		
	態度の心理学		2		
	基礎ゼミナールⅠ	4			
	基礎ゼミナールⅡ	2			
	専門プレゼミナールⅠ	4			
	専門プレゼミナールⅡ	2			
	現代社会と福祉Ⅰ	2			30単位 以上
	現代社会と福祉Ⅱ	2			
	社会保障論Ⅰ	2			
	社会保障論Ⅱ	2			
	社会調査の基礎		2		
	高齢者に対する支援と 介護保険制度Ⅰ		2		
高齢者に対する支援と 介護保険制度Ⅱ		2			
障害者に対する支援と 障害者自立支援制度		2			
児童や家庭に対する支援と 児童・家庭福祉制度		2			
地域福祉の理論と方法Ⅰ	2				
地域福祉の理論と方法Ⅱ	2				
保健医療サービス		2			
医療ソーシャルワーク論		2			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	医療ソーシャルワーク演習		4		
	低所得者に対する支援と 生活保護制度		2		
	権利擁護と成年後見制度		2		
	福祉行財政と福祉計画		2		
	福祉行財政と福祉計画（応用）		2		
	相談援助の理論と方法Ⅰ	4			
	相談援助の理論と方法Ⅱ	4			
	相談援助演習ⅠA	2			
	相談援助演習ⅠB		4		
	相談援助演習Ⅱ		4		
	相談援助演習（統合）		2		
	相談援助実習指導Ⅰ		1		
	相談援助実習指導Ⅱ		1		
	相談援助実習指導Ⅲ		1		
	相談援助基礎実習		1		
	相談援助実習		4		
	専門ゼミナールⅠ	2			
	専門ゼミナールⅡ	2			
	卒業演習	4			
	就労支援サービス		2		4単位 以上
	更生保護制度		1		
	福祉サービスの組織と経営		2		
	福祉サービスの組織と経営 （応用）		2		
心理検査法		2			
臨床心理学		2			
統計学の基礎		2			
加齢及び障害に関する理解		2			
人体の構造及び日常生活 行動に関する理解		2			
福祉住環境論		2			
精神保健福祉に関する 制度とサービスⅠ		2			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	精神保健福祉に関する 制度とサービスⅡ		2			
	精神障害者の生活支援 システム		2			
	精神疾患とその治療Ⅰ		2			
	精神疾患とその治療Ⅱ		2			
	精神保健の課題と支援Ⅰ		2			
	精神保健の課題と支援Ⅱ		2			
	精神保健福祉相談援助の 基盤（専門）		2			
	精神保健福祉の理論と 相談援助の展開ⅠA		2			
	精神保健福祉の理論と 相談援助の展開ⅠB		2			
	精神保健福祉の理論と 相談援助の展開ⅡA		2			
	精神保健福祉の理論と 相談援助の展開ⅡB		2			
	精神保健福祉援助演習（専門）A		2			
	精神保健福祉援助演習（専門）B		2			
	精神保健福祉援助実習指導		3			
	精神保健福祉援助実習		4			
	レクリエーションワーク		2			4単位 以上
	福祉レクリエーションⅠ		2			
	福祉レクリエーションⅡ		2			
	福祉レクリエーション演習Ⅰ		2			
	福祉レクリエーション演習Ⅱ		2			
生活支援技術		2				
病気の理解		2				
ケアマネジメント論		2				
在宅ケア論		2				
児童・高齢者・障害者の心理		2				
教育心理学		2				
国際福祉論		2				
インターンシップ		4				
社会福祉特別講義Ⅰ		2		卒業 要件 130 単位 以上		
社会福祉特別講義Ⅱ		2				

別表第6-1 生涯福祉学部 こども福祉学科の授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	授業科目の 区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由				必修	選択	自由	
基礎 科目	日本語（読解と表現）	2			10単位 以上	専 門 社 会 福 祉 育 基 盤 科 目	生涯学習論		2		14単位 以上
	英語	2					生涯発達心理学Ⅰ		2		
	コンピュータ演習	2					社会福祉Ⅰ	2			
教 養 科 目	宗教と人生	2			社会福祉Ⅱ			2			
	生命倫理学		2		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		2				
	哲学		2		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ			2			
	文学		2		ソーシャルワークの理論と実践Ⅰ			4			
	仏教と現代社会		2		ソーシャルワークの理論と実践Ⅱ			4			
	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		児童家庭福祉		2				
	国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		低所得者に対する支援と 生活保護制度			2			
	色彩とデザイン		2		高齢者に対する支援と 介護保険制度Ⅰ		2				
	法と社会		2		高齢者に対する支援と 介護保険制度Ⅱ			2			
	日本国憲法		2		介護概論			2			
	人権の歴史		2		加齢及び障害に関する理解			2			
	政治学		2		障害者福祉論			2			
	社会学		2		権利擁護と成年後見制度			2			
	経済学		2		地域福祉の理論と方法Ⅰ			2			
	生物学		2		福祉行財政と福祉計画			2			
	食と健康		2		福祉サービスの組織と経営			2			
	実用英語（初級）		2		社会保障論Ⅰ		2				
	実用英語（中級）		2		社会保障論Ⅱ			2			
	中国語（初級）		2		国際福祉論			2			
	中国語（中級）		2		社会調査の基礎			2			
健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2		社会調査の応用			2				
健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）		1		心理検査法			2				
健康・スポーツ科学Ⅲ（実技）		1		精神保健福祉論	2						
私のためのキャリア設計		2		精神医学Ⅰ			2				
				精神保健学Ⅰ			2				
				精神保健福祉援助技術各論Ⅰ			2				
				精神保健福祉援助技術各論Ⅱ			2				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 基 盤 科 目	初年次演習Ⅰ	2			20単位 以上
	初年次演習Ⅱ	2			
	こども福祉基礎演習Ⅰ	2			
	こども福祉基礎演習Ⅱ	2			
	人間福祉論	2			
	保育原理Ⅰ	2			
	保育原理Ⅱ		2		
	教育原理	2			
	こどもの心理学Ⅰ	2			
	こどもの心理学Ⅱ		1		
	乳児保育Ⅰ		1		
	乳児保育Ⅱ		1		
	障害児保育Ⅰ		1		
	障害児保育Ⅱ		1		
	相談援助		1		
	家庭支援論		2		
	社会的養護		2		
社会的養護内容		1			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	こどもの保健ⅠA		2		30単位 以上
	こどもの保健ⅠB		2		
	こどもの保健Ⅱ		1		
	こどもの食と栄養Ⅰ		1		
	こどもの食と栄養Ⅱ		1		
	こどもと健康		2		
	こどもと人間関係		2		
	こどもと環境		2		
	こどもと言葉		2		
	こどもと音楽表現		2		
	こどもと身体表現		2		
	こどもと言語表現		2		
	こどもと音楽Ⅰ	2			
	こどもと音楽Ⅱ		2		
	こどもと音楽Ⅲ		2		
	こどもと音楽Ⅳ		2		
	こどもと造形Ⅰ	2			
	こどもと造形Ⅱ		2		
	こどもと造形Ⅲ		2		
	こどもと造形Ⅳ		2		
	こどもと運動Ⅰ	2			
	こどもと運動Ⅱ		2		
	こどもと数		2		
	こどもと生活		2		
こども文化論Ⅰ		2			
こども文化論Ⅱ		1			
こどもとメディア		2			
国際こども文化論		2			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	こども福祉専門演習Ⅰ	2			30単位 以上
	こども福祉専門演習Ⅱ	2			
	こども福祉卒業演習Ⅰ	2			
	こども福祉卒業演習Ⅱ	2			
	教師・保育者論	2			
	保育課程総論	2			
	保育内容総論		2		
	保育・教職実践演習（幼稚園）		2		
	教育心理学		2		
	幼児理解		2		
	青年心理学		2		
	臨床心理学		2		
	教育制度論		2		
	教育方法論		2		
	教育相談		2		
	表現総合演習		1		
	造形総合演習		1		
	音楽教育		2		
	こども音楽療育概論		2		
	こども音楽療育演習		1		
	こども音楽療育実習		1		
	保育相談支援Ⅰ		1		
	保育相談支援Ⅱ		1		
	集団施設保育の現状と課題		2		
	保育実習ⅠA		2		
	保育実習ⅠB		2		
保育実習Ⅱ		2			
保育実習Ⅲ		2			
保育実習指導ⅠA		1			
保育実習指導ⅠB		1			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目 Ⅱ 群	保育実習指導Ⅱ		1		
		保育実習指導Ⅲ		1		
		教育実習指導		1		
		教育実習		4		
	専 門 教 育 科 目	発 展 科 目	子育て支援地域活動Ⅰ		2	
			子育て支援地域活動Ⅱ		2	
			児童館の機能と運営		2	
			発達障害児への支援		2	
			発達と疾病・障害Ⅰ		2	
			発達と疾病・障害Ⅱ		2	
			こころとからだのしくみⅠ		2	
			こころとからだのしくみⅡ		2	
			児童の貧困と虐待		2	
			児童の健全育成と福祉		2	
			少子高齢社会とこどもの生活		2	
			施設保育士論		2	
			男女共同参画社会の構築		2	
			福祉経営実践演習		2	
			消費者教育		2	
			幼児のための福祉教育Ⅰ		2	
			幼児のための福祉教育Ⅱ		2	
			こども福祉特論		2	
			児童福祉実習指導		1	
			児童福祉実習Ⅰ		2	
	児童福祉実習Ⅱ		2			

卒業要件
130単位
以上

別表第6-2 生涯福祉学部 こども福祉学科幼児教育コースの授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	授業科目の 区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由				必修	選択	自由	
基礎 科目	日本語（読解と表現）	2			10単位 以上	専 門 社 会 福 祉 育 基 盤 科 目	生涯学習論		2		14単位 以上
	英語	2					生涯発達心理学Ⅰ		2		
	コンピュータ演習	2					社会福祉Ⅰ	2			
教 養 科 目	宗教と人生	2			社会福祉Ⅱ			2			
	生命倫理学		2		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		2				
	哲学		2		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ			2			
	文学		2		ソーシャルワークの理論と実践Ⅰ			4			
	仏教と現代社会		2		ソーシャルワークの理論と実践Ⅱ			4			
	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		児童家庭福祉		2				
	国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		低所得者に対する支援と 生活保護制度			2			
	色彩とデザイン		2		高齢者に対する支援と 介護保険制度Ⅰ		2				
	法と社会		2		高齢者に対する支援と 介護保険制度Ⅱ			2			
	日本国憲法		2		介護概論			2			
	人権の歴史		2		加齢及び障害に関する理解			2			
	政治学		2		障害者福祉論			2			
	社会学		2		権利擁護と成年後見制度			2			
	経済学		2		地域福祉の理論と方法Ⅰ			2			
	生物学		2		福祉行財政と福祉計画			2			
	食と健康		2		福祉サービスの組織と経営			2			
	実用英語（初級）		2		社会保障論Ⅰ		2				
	実用英語（中級）		2		社会保障論Ⅱ			2			
	中国語（初級）		2		国際福祉論			2			
	中国語（中級）		2		社会調査の基礎			2			
健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2		社会調査の応用			2				
健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）		1		心理検査法			2				
健康・スポーツ科学Ⅲ（実技）		1		精神保健福祉論	2						
私のためのキャリア設計		2		精神医学Ⅰ			2				
				精神保健学Ⅰ			2				
				精神保健福祉援助技術各論Ⅰ			2				
				精神保健福祉援助技術各論Ⅱ			2				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	初年次演習Ⅰ	2			20単位 以上
	初年次演習Ⅱ	2			
	こども福祉基礎演習Ⅰ	2			
	こども福祉基礎演習Ⅱ	2			
	人間福祉論	2			※②
	保育原理Ⅰ	2			
	保育原理Ⅱ		2		
	教育原理	2			
	こどもの心理学Ⅰ	2			
	こどもの心理学Ⅱ		1		
	乳児保育Ⅰ		1		
	乳児保育Ⅱ		1		
	障害児保育Ⅰ		1		
	障害児保育Ⅱ		1		
	相談援助		1		
	家庭支援論		2		
	社会的養護		2		
	社会的養護内容		1		

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	こどもの保健ⅠA		2		30単位 以上
	こどもの保健ⅠB		2		
	こどもの保健Ⅱ		1		※①
	こどもの食と栄養Ⅰ		1		
	こどもの食と栄養Ⅱ		1		
	こどもと健康	2			
	こどもと人間関係	2			
	こどもと環境	2			
	こどもと言葉	2			
	こどもと音楽表現	2			
	こどもと身体表現	2			
	こどもと言語表現	2			
	こどもと音楽Ⅰ	2			
	こどもと音楽Ⅱ	2			
	こどもと音楽Ⅲ	2			
	こどもと音楽Ⅳ		2		
	こどもと造形Ⅰ	2			※①
	こどもと造形Ⅱ	2			
	こどもと造形Ⅲ	2			
	こどもと造形Ⅳ		2		
	こどもと運動Ⅰ	2			※②
	こどもと運動Ⅱ	2			
	こどもと数	2			※①
	こどもと生活	2			
	こども文化論Ⅰ		2		※②
	こども文化論Ⅱ		1		
	こどもとメディア		2		
国際こども文化論		2			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	こども福祉専門演習Ⅰ	2			30単位 以上	
	こども福祉専門演習Ⅱ	2				
	こども福祉卒業演習Ⅰ	2				
	こども福祉卒業演習Ⅱ	2				
	教師・保育者論	2			※①	
	保育課程総論	2				
	保育内容総論	2				
	保育・教職実践演習（幼稚園）	2				
	教育心理学	2				
	幼児理解	2				
	青年心理学		2			※②
	臨床心理学		2			
	教育制度論	2				※①
	教育方法論	2				
	教育相談	2				
	表現総合演習		1		※②	
	造形総合演習		1			
	音楽教育	2			※①	
	こども音楽療育概論		2			
	こども音楽療育演習		1			
	こども音楽療育実習		1			
	保育相談支援Ⅰ		1			
	保育相談支援Ⅱ		1			
	集団施設保育の現状と課題		2			
	保育実習ⅠA		2			
	保育実習ⅠB		2			
	保育実習Ⅱ		2			
	保育実習Ⅲ		2			
保育実習指導ⅠA		1				
保育実習指導ⅠB		1				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考		
		必修	選択	自由			
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目 Ⅱ 群	保育実習指導Ⅱ		1		※①	
		保育実習指導Ⅲ		1			
		教育実習指導	1				
		教育実習	4				
	専 門 教 育 科 目	発 展 科 目	子育て支援地域活動Ⅰ		2		※②
			子育て支援地域活動Ⅱ		2		
			児童館の機能と運営		2		
			発達障害児への支援		2		
			発達と疾病・障害Ⅰ		2		
			発達と疾病・障害Ⅱ		2		
			こころとからだのしくみⅠ		2		
			こころとからだのしくみⅡ		2		
			児童の貧困と虐待		2		
			児童の健全育成と福祉		2		
			少子高齢社会とこどもの生活		2		
			施設保育士論		2		
			男女共同参画社会の構築		2		
			福祉経営実践演習		2		
			消費者教育		2		
			幼児のための福祉教育Ⅰ	2			
幼児のための福祉教育Ⅱ	2						
こども福祉特論		2					
児童福祉実習指導		1					
児童福祉実習Ⅰ		2		卒業要 件130単 位以上			
児童福祉実習Ⅱ		2					

- ・※①のコース必修科目53単位を修得すること
- ・※②の科目のうち、4単位以上を修得すること

別表第6-3 生涯福祉学部 こども福祉学科児童福祉コースの授業科目及び単位数

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	授業科目の 区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由				必修	選択	自由	
基礎 科目	日本語（読解と表現）	2			10単位 以上	専 門 社 会 福 祉 育 基 盤 科 目	生涯学習論		2		14単位 以上
	英語	2					生涯発達心理学Ⅰ		2		
	コンピュータ演習	2					社会福祉Ⅰ	2			
教 養 科 目	宗教と人生	2			社会福祉Ⅱ			2			
	生命倫理学		2		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		2				
	哲学		2		ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ			2			
	文学		2		ソーシャルワークの理論と実践Ⅰ			4			
	仏教と現代社会		2		ソーシャルワークの理論と実践Ⅱ			4			
	国際理解と宗教Ⅰ（キリスト教）		2		児童家庭福祉		2				
	国際理解と宗教Ⅱ（イスラム教）		2		低所得者に対する支援と 生活保護制度			2			
	色彩とデザイン		2		高齢者に対する支援と 介護保険制度Ⅰ		2				
	法と社会		2		高齢者に対する支援と 介護保険制度Ⅱ			2			
	日本国憲法		2		介護概論			2			
	人権の歴史		2		加齢及び障害に関する理解			2			
	政治学		2		障害者福祉論			2			
	社会学		2		権利擁護と成年後見制度			2			
	経済学		2		地域福祉の理論と方法Ⅰ			2			
	生物学		2		福祉行財政と福祉計画			2			
	食と健康		2		福祉サービスの組織と経営			2			
	実用英語（初級）		2		社会保障論Ⅰ		2				
	実用英語（中級）		2		社会保障論Ⅱ		2				
	中国語（初級）		2		国際福祉論		2				
	中国語（中級）		2		社会調査の基礎		2				
健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）		2		社会調査の応用		2					
健康・スポーツ科学Ⅱ（実技）		1		心理検査法		2					
健康・スポーツ科学Ⅲ（実技）		1		精神保健福祉論	2						
私のためのキャリア設計		2		精神医学Ⅰ		2					
				精神保健学Ⅰ		2					
				精神保健福祉援助技術各論Ⅰ		2					
				精神保健福祉援助技術各論Ⅱ		2					

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 基 盤 科 目	初年次演習Ⅰ	2			20単位 以上
	初年次演習Ⅱ	2			
	こども福祉基礎演習Ⅰ	2			
	こども福祉基礎演習Ⅱ	2			
	人間福祉論	2			※①
	保育原理Ⅰ	2			
	保育原理Ⅱ		2		
	教育原理		2		
	こどもの心理学Ⅰ	2			
	こどもの心理学Ⅱ		1		
	乳児保育Ⅰ	1			
	乳児保育Ⅱ	1			
	障害児保育Ⅰ	1			
	障害児保育Ⅱ	1			
	相談援助	1			
	家庭支援論	2			
	社会的養護	2			
社会的養護内容	1				

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	こどもの保健ⅠA	2			30単位 以上
	こどもの保健ⅠB	2			
	こどもの保健Ⅱ	1			※①
	こどもの食と栄養Ⅰ	1			
	こどもの食と栄養Ⅱ	1			
	こどもと健康		2		
	こどもと人間関係		2		
	こどもと環境		2		
	こどもと言葉		2		
	こどもと音楽表現		2		
	こどもと身体表現		2		
	こどもと言語表現		2		
	こどもと音楽Ⅰ	2			
	こどもと音楽Ⅱ		2		
	こどもと音楽Ⅲ		2		
	こどもと音楽Ⅳ		2		
	こどもと造形Ⅰ	2			
	こどもと造形Ⅱ		2		
	こどもと造形Ⅲ		2		
	こどもと造形Ⅳ		2		
	こどもと運動Ⅰ	2			
	こどもと運動Ⅱ		2		
	こどもと数		2		
	こどもと生活		2		
こども文化論Ⅰ		2			
こども文化論Ⅱ		1			
こどもとメディア		2			
国際こども文化論		2			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	こども福祉専門演習Ⅰ	2			30単位 以上
	こども福祉専門演習Ⅱ	2			
	こども福祉卒業演習Ⅰ	2			
	こども福祉卒業演習Ⅱ	2			
	教師・保育者論	2			※①
	保育課程総論	2			
	保育内容総論		2		
	保育・教職実践演習（幼稚園）		2		
	教育心理学		2		
	幼児理解		2		
	青年心理学		2		
	臨床心理学		2		
	教育制度論		2		
	教育方法論		2		
	教育相談		2		
	表現総合演習		1		
	造形総合演習		1		
	音楽教育		2		
	こども音楽療育概論		2		
	こども音楽療育演習		1		
	こども音楽療育実習		1		
	保育相談支援Ⅰ	1			
	保育相談支援Ⅱ		1		
	集団施設保育の現状と課題		2		
	保育実習ⅠA		2		
	保育実習ⅠB		2		
	保育実習Ⅱ		2		
	保育実習Ⅲ		2		
保育実習指導ⅠA		1			
保育実習指導ⅠB		1			

授業科目 の区分	授業科目の名称	単位数又は時間数			備考	
		必修	選択	自由		
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目 Ⅱ 群	保育実習指導Ⅱ		1		
		保育実習指導Ⅲ		1		
		教育実習指導		1		
		教育実習		4		
	専 門 教 育 科 目	発 展 科 目	子育て支援地域活動Ⅰ		2	
			子育て支援地域活動Ⅱ		2	
			児童館の機能と運営		2	
			発達障害児への支援		2	
			発達と疾病・障害Ⅰ		2	
			発達と疾病・障害Ⅱ		2	
			こころとからだのしくみⅠ		2	
			こころとからだのしくみⅡ		2	
			児童の貧困と虐待		2	
			児童の健全育成と福祉		2	
			少子高齢社会とこどもの生活		2	
			施設保育士論		2	
			男女共同参画社会の構築		2	
			福祉経営実践演習		2	
			消費者教育		2	
			幼児のための福祉教育Ⅰ		2	
			幼児のための福祉教育Ⅱ		2	
			こども福祉特論		2	
			児童福祉実習指導		1	
			児童福祉実習Ⅰ		2	卒業要 件130単 位以上
児童福祉実習Ⅱ		2				

・※①のコース必修科目18単位を修得すること

別表第7 教職に関する科目

(中学校及び高等学校教諭一種免許状)

授業科目の名称	単位数	
	必修	選択
教 職 概 論		2
教 育 原 理		2
教 育 史		2
発 達 心 理 学		2
教 育 心 理 学		2
教 育 制 度 論		2
教 育 課 程 論		2
公 民 科 教 育 法		4
情 報 科 教 育 法		4
商 業 科 教 育 法		4
保 健・保 健 体 育 科 教 育 法 I (保 健 教 育 内 容 研 究)		2
保 健・保 健 体 育 科 教 育 法 II (保 健 教 育 法 研 究)		2
保 健 科 教 育 法 I (保 健 科 教 育 教 材 研 究)		2
保 健 科 教 育 法 II (保 健 科 教 育 法 演 習)		2
保 健 体 育 科 教 育 法 I (保 健 体 育 科 教 育 研 究)		2
保 健 体 育 科 教 育 法 II (保 健 体 育 科 教 育 法 研 究)		2
福 祉 科 教 育 法		4
道 徳 教 育 論		2
特 別 活 動 論		2
教 育 方 法 ・ 技 術 論		2
教 育 情 報 化 演 習 I		2
教 育 情 報 化 演 習 II		2
生 徒 指 導 論		2
教 育 相 談 (カ ウ ン セ リ ン グ を 含 む)		2
進 路 指 導 論		2
教 育 実 習 予 備 演 習 I		2
教 育 実 習 予 備 演 習 II		2
教 育 実 習 事 前 事 後 指 導		1
事 前 ・ 事 後 指 導		1
中 学 校 教 育 実 習		3

授業科目の名称	単位数	
	必修	選択
高 等 学 校 教 育 実 習		2
中 学 校 教 育 実 習 (事 前 ・ 事 後 指 導)		2
高 等 学 校 教 育 実 習 (事 前 ・ 事 後 指 導)		1
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)		2
教 職 実 践 演 習 (高)		2

(養護教諭一種免許状及び栄養教諭一種免許状)

授業科目の名称	単位数	
	必修	選択
教 職 概 論		2
教 育 原 理		2
教 育 史		2
教 育 心 理 学		2
教 育 制 度 論		2
教 育 課 程 論		2
道 徳 教 育 論		2
教 育 課 程 論 (道 徳 ・ 特 別 活 動 を 含 む)		2
特 別 活 動 論		2
教 育 方 法 ・ 技 術 論		2
生 徒 指 導 論		2
教 育 相 談 (カ ウ ン セ リ ン グ を 含 む)		2
養 護 実 習 (事 前 ・ 事 後 指 導)		1
養 護 実 習		4
養 護 実 習 (事 前 事 後 指 導 を 含 む)		5
事 前 事 後 指 導		1
栄 養 教 育 実 習		1
教 職 実 践 演 習 (養 護 実 習)		2
教 職 実 践 演 習 (栄 養 教 諭)		2

別表第8 検定料、入学金、授業料等

区分・項目	金 額		
	経済情報学部	健康科学部	生涯福祉学部
入 学 金	350,000円	350,000円	350,000円
授 業 料	810,000円	1,550,000円	1,190,000円
施 設 費	300,000円	0円	0円
実験実習費	80,000円	0円	0円
入学検定料	30,000円	30,000円	30,000円

別表第9 在籍料

区分・項目	金 額
在籍料	1学期 25,000円

別表第10 検定料、授業料

区分・項目	経済情報学部		健康科学部		生涯福祉学部	
	研究生	科目等履修生	研究生	科目等履修生	研究生	科目等履修生
授 業 料	(1期) 50,000円	(1科目) 25,000円	(1期) 70,000円	(1科目) 33,000円	(1期) 50,000円	(1科目) 25,000円
入学検定料	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円